

<特集「モダリティ」>

アイヌ語沙流方言におけるモダリティ Modality in the Saru dialect of Ainu

吉川 佳見
Yoshimi Yoshikawa

北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究職員 / 東京外国語大学非常勤講師
Researcher, Ainu Culture Research Center, Hokkaido Museum / Part-time Lecturer, Tokyo University of Foreign Studies

要旨: 本稿は特集補遺「モダリティ」のアンケートの項目に基づき、アイヌ語沙流方言のデータを与えることを目的とする。

Abstract: This article offers Ainu (Saru dialect) data based on the questionnaire for the special issue “Modality”.

DOI: <https://doi.org/10.15026/0002001055>

キーワード: アイヌ語, 沙流方言, モダリティ

Keywords: Ainu, Saru dialect, modality

1. はじめに

アイヌ語は近年の急激な母語話者数の減少により、母語話者に対するアンケート調査がほぼ不可能な状態となっている。そこで本稿では、特集補遺「モダリティ」のアンケートの見出しになるべく近い用例を、公刊済みの文献（辞書含む）から抽出することとした。抽出できなかったものは「不明」と記した。アイヌ語は北海道、樺太、千島などの方言に大別され、さらにそれぞれの地域において細分化されるが、本稿で使用したデータは北海道南西部のアイヌ語沙流方言のもの（および沙流方言だと推測されているもの）である。

アイヌ語は現存する日常語の資料がきわめて少ないため、本稿に掲載したものは日常語の用例と散文説話における用例とが混在している。散文説話では日常語と異なる人称接辞の使い方¹をするが、そのほかについて両者の文法的な差異はほとんど無いとされている。また、引用した用例は1950～80年代頃に



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

¹ アイヌ語では動詞における人称表示が義務的に行われる。このうち、他動詞主格 *a-*、自動詞主格 *-an*、他動詞目的格 *i-*は、包括的一人称複数（聞き手を含む「私たち」）、不定人称、敬意の二人称、物語中の叙述者の人称、引用文中の話者の人称といった複数の用法を持つ人称接辞である。「*a-*」「*-an*」「*i-*」は、一・二・三人称のいずれでもないという点で「四人称」と称されることがある。「物語中の叙述者」は、多くの場合主人公である「私」を指す。日常会話では、一人称単数主格 *ku-*、一人称単数目的格 *en-*などの人称接辞が用いられるのに対し、物語中ではこれらの接辞は使われず、「私が」の場合は *a-*または *-an*が、「私を/に」の場合は *i-*が用いられる。

四人称人称接辞には「4」のグロスがあてられることがあるが、本稿では便宜上、物語文中の叙述者の人称（「私が」等）にも *1SG.S* 等のグロスをあてている。また、物語中の叙述者の人称を「不定人称」として示す立場もあるが、本稿では、動作主体が明示されない不定用法のときのみ *INDF* のグロスを与えている。

収集・採録されたと考えられるものが主である。

引用にあたり、アイヌ語本文の表記に変更を加えたものがある²。日本語訳は原則原典に従ったが、補足が必要と思われるものについては括弧の中に記した。散文説話からの用例（または人称接辞の使われ方からそう考えられるもの）については、用例の日本語訳末尾に《説話》と記した。

2. データ

3-1 （その仕事が終わったら）もう帰ってもいいですよ。【許可】

(1) e-e yakka pirka.

2SG.S-～を食べる しても 良い

（あなたは）食べてもいい。

（田村 1996 : 836）

(2) e-mokor rusuy ciki te ta e-hotke yakka pirka na.

2SG.S-眠る したい なら ここで 2SG.S-寝る しても 良い よ

眠たいならここで寝てもいいのだよ。《説話》

（国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ：C0170KM_34710B_34711AP 川上まつ子さんの民話(ア) 伝染病で生き残った十勝の男の話（1986））

接続助詞 *yakka* は「～しても」という条件を表し、*pirka* 「良い」が直後に続くと *yakka pirka* 「～してもよい」という意味を表す。

3-2 （腐っているから、あなたは）それを食べてはいけない／それを食べるな。【禁止】

(3) iteki arpa.

PROH 行く

行くな。

（田村 1996 : 252）

アイヌ語では動詞における人称表示が義務的に行われるが、命令文の場合は主格人称接辞が付かない³。例えば、「あなたが行く」という文であれば動詞 *arpa* 「行く」に二人称単数主格人称接辞 *e* が付いて「*e-arpa*」となるが、相手に対して「行け」と命令する場合は「*arpa*」となる。禁止の場合はこの(3)のように、副詞 *iteki* 「（決して）～するな」を命令文の文頭に置く。なお、アイヌ語では三人称の人称接辞はゼロ表示であり、「*arpa*」は文脈によっては「彼/彼女が行く。」とも解釈される。

² 表記は北海道ウタリ協会編(1994)『アコロ イタク』に準拠した。但し、同書では人称接辞境界は「=」（半角イコール）で表記するが、本稿では「-」（半角ハイフン）を用いた。

³ 目的格人称接辞は用いることができる。

3-3 (遅くなったので) 私たちはもう帰らなければならない。【義務】

- (4) k-arpa easirki.
 1SG.S-行く しなければならない
 行かななければならない。

(服部編 1964 : 330)

- (5) k-arpa oasi.
 1SG.S-行く.SG しようとしている
 もう行かなきゃいけない。

(服部編 1964 : 330)

- (6) na ka uenewsar-an rusuy korka
 まだ も 四方山話をする-1PL.INCL.S したい けれど
 uekohopi-an oasi.
 互いに離れる-1PL.INCL.S しようとしている
 まだまだいろいろな話をしたいけれど離ればなれにならなければならない。

(萱野 1996 : 164)

(4)のような助動詞 easirki「～しなければならない」のほか, (5)(6)のように助動詞 oasi が使われる例もある。助動詞は動詞に後続し, 人称接辞を伴わない。助動詞 oasi は「まさに～しようとしている」「いま～するところだ」「～することになっている」などといった意味を表すが, 田村(1996)によれば, 「日本語で「…しなければならない」と言うような状況文脈で, oasi も使われる。」(田村 1996 : 75)

3-4 (雨が降るそうだから) 傘を持って出かけたほうがいいよ。【推奨】

- (7) tan nepki anak a-opitta a-kar yak pirka.
 この 仕事 TOP 1PL-全部 1PL.S.INCL-~をする したら 良い
 その仕事はみんなでやった方がいい

(本田 2001 : 39)

- (8) sunke ne ya e-nukar yak pirka.
 嘘 COP か 2SG.S-~を見る したら 良い
 うそだかどうか(あなたは) 見るとよい (=見なさい)

(田村 1988 : 82)

接続助詞 yak「～すると, ~したら」⁴と pirka「良い」で, yak pirka「～すると/したらよい」「～する/したらよい」「～する/したほうがよい」といった意味になる。また, (8)のように yak pirka は「～しなさい」といった命令表現としてはたらくことがある。単純な命令文では動詞に主格人称接辞は付かないが, 上記のような場合には人称接辞を伴う形が許される。

⁴ アイヌ語は無テンス言語である。動詞句+yak も「～すると」と訳されるか「～したら」と訳されるかは文脈による。

3-5 歳をとったら、子供の言うことを聞くべきだ／聞くものだ。【評価的義務】

- (9) “menoko anakne sekor kemeyki p ne na
 女 TOP このように 針仕事をする もの COP よ
 tap neno iki-an pe ne na.”
 この ように する-INDF.S もの COP よ

sekor hawean kor i-kemeikire wa

QUOT 言う ながら 1SG.O-~に針仕事をさせる して

「女は刺繍をこのようにするものだよ。」と（兄は）言いながら私に刺繍をさせて《説話》

(千葉大学編 2015 : 324)

田村(1988)によれば、動詞が不定人称をとる場合、「~ p/pe ne」（形式名詞 p/pe 「もの」，コンピュータ ne 「~である」）で、「（一般に、人は）~するものだよ」という意味を表す。「大人や老人が、子供や若者に世の中のしきたりを教え、指導する言い方として使われる。」（田村 1988 : 81）

3-6 お腹が空いたので、（私は）何か食べたい。【希望】

- (10) kam rur k-e rusuy.
 肉 汁 1SG.S-~を食べる したい
 肉のおつゆを食べたいよ。

(本田 2001 : 34)

助動詞 rusuy は「~したい」という希望・願望を表す。

3-7 私が持ちましよう。【意志】

- (11) “yakun a-rayke somo ki no a-tura kusu ne.”
 ならば 1SG.S-~を殺す NEG する して 1SG.S-~を連れる つもり COP
 ならば殺さないで連れていくとしよう《説話》

(アイヌ民族博物館編 1997 : 58)

kusu ne は「~する（ことになっている）」「~しようとしている」「~しよう」のような、予定や意志を表す。

3-8 じゃあ、一緒に昼ご飯を食べましよう。【勧誘】

- (12) ipe-an !
 食事する-IPL.INCL.S
 食べよう

(田村 1988 : 82)

- (13) “ hetak e-suke okere siri ne yakun ipe-an ro. ”
 さあ 2SG.S-料理する ~し終える EV COP ならば 食事する-1PL.INCL.S HOR
 さあ料理を終えたなら食べましょう 《説話》

(国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ:C0159KM_34683ABP 川上まつ子さんの民話(7) ワシ神の化身と人間の娘 (1986))

(12)は包括的一人称複数の人称接辞が自動詞 ipe 「食事する」に付いた形であり, 「(相手も含む) 私たちが食事する. 」という意味の平叙文にもなるが勧誘でも使用される. (13)のように勧誘の終助詞 ro を付ける用法もある.

3-9 一緒に昼ご飯を食べませんか? 【相手の意向が不明な場合の勧誘】

- (14) ipe-an ro!
 食事する-1PL.INCL.S HOR
 食べようか/食べない?

(田村 1988 : 82)

勧誘の終助詞 ro は相手の意向が不明な場合に限らず使われる形式であるが, 田村(1988)によれば, ro を付けると「~しようと思うがどうか」というやわらかい提案の言い方になるという.

3-10 明日, 良い天気になるといいなあ. /明日は良い天気になってほしいなあ. 【希望】

- (15) nen ka ta a-kar yak a-rayke oka!
 どうかして EMPH 1SG.S-~をする したら 1SG.S-~を殺す なあ
 なんとかして殺してやりたいものだなあ! 《説話》

(田村 1996 : 835)

- (16) “ cikitaheta siroyapa yakne⁵ a-nukar. ”
 なんとかして 来年になる したら 1SG.S-~を見る/~に会う
 早く来年になって会えるといいなあ 《説話》

(田村 1989 : 14)

- (17) atuy ruyanpe isam yak pirka p!
 海 嵐 無い したら 良い もの
 海がしけてないといいがなあ

(田村 1988 : 58)

(15)の終助詞 oka は副助詞 ta と呼応して, 「~すればいいのになあ!」 「~したいものだなあ!」のような願望を表す. (16)の副詞 cikitaheta は「さあ早く, なんとか早く (...なるといいなあ). (田村 1996 : 52) 」という意味を表す. (17)の yak pirka p 「~するとよいが/よいのに」は, 「願望の表現の一種で, 実現の可能性のある場合も, 過去の事実と反する場合にも用いられる. 」 (田村 1988 : 58)

⁵ yak と yakne の間に意味の差はないようである. (田村 1996 等を参照)

3-11 (私はここで待っているから) すぐにそれを持って来なさい。【命令】

- (18) puyar asi wa ek.
 窓 ～を閉める して 来る.SG
 窓を閉めて来い.

(萱野 1996 : 15)

- (19) ahup yan.
 入る.PL IMP
 ・入りなさい。(複数名に対して)
 ・どうぞお入り下さい。(丁寧な命令)

(田村 1996 : 838)

動詞に主格人称接辞を付けずに相手に対して言うと、命令文となる。相手が複数であるとき、または相手の数に関わらず丁寧な命令として言いたいときには終助詞 yan を用いる。アイヌ語の動詞の一部は単複の区別を持つが、yan が使われた場合、単複の区別を持つ動詞は複数形となる ((19)の自動詞 ahup は、ahun 「入る(単)」の複数形)。

3-12 そのペンをちょっと貸していただけませんか？【懇願】

- (20) nen ka en-tura wa en-kore.
 どこかへ 1SG.O-～を連れる して 1SG.O-～に～を与える
 どこかへ連れて行って

(本田 2001 : 14)

- (21) a-onaha ene irawe siri ene iri siri
 1SG-父親 そのように ものを殺す? 様子 そのように 獲物を解体する 様子
 a-nukar rusuy kusu i-siturare wa i-kore
 1SG.S-～を見る したい ので 1SG.O-～を一緒に来させる して 1SG.O-～に～を与える
 somo ki p he an” sekor hawan-an akusu
 NEG する もの Q ある.SG QUOT 話す-1SG.S すると
 父さんがどのように狩りをして獲物を解体するのか見てみたいので連れて行ってくれませんか」と
 (私が父に) 言うと《説話》
 (国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ : C0170KM_34710B_34711AP 川上まつ子さんの民話(7)
 伝染病で生き残った十勝の男の話 (1986))

- (22) eci-hekote wa k-arpa yakka pirka ?
 1SG.S.2SG.O-～に連れ沿う して 1SG.S-行く.SG しても 良い
 (私があなたに) ついて行ってもいい?

(田村 1988 : 83)

(20)は「私をどこかへ連れて行ってほしい。」という意味になる。通常、「私に/を～してくれ」と言いたいときには、(20)のように wa kore 「～てくれる」(接続助詞 wa, 他動詞 kore 「～に～を与える」)

を使う。(21)はその構文に *somo ki p he an* が後続することによって、「～てくれないか」といったニュアンスを持つと考えられる。(22)は 3-1 で挙げた *yakka pirka* 「～してもよい」を質問文で使っている形であり、「自分(たち)が希望することに、許可、是認を求める言い方である。」(田村 1988 : 83)

3-13 あの人は中国語が読めます。／あの人は中国語を読むことができます。【能力可能】

(23) *aynu itak easkay.*

アイヌ 言葉 ～ができる

(彼/彼女は) アイヌ語ができる。

(服部編 1964 : 156)

(24) *aynu itak e-ye easkay ?*

アイヌ 言葉 2SG.S-～を言う できる

あなたはアイヌ語が話せますか？

(服部編 1964 : 156)

easkay は(23)では他動詞として用いられ、(24)では助動詞として用いられている。助動詞の場合は人称接辞を伴わない。

3-14 明かりが暗くて、ここに何が書いてあるのか、読めない。【状況可能】

(25) *tunas ku-hotke a p anontom ta ku-mos wa*

早く 1SG.S-寝る した だが 夜中 に 1SG.S-目覚める して

orano ku-mokor koyaykus.

それから 1SG.S-眠る できない

早くに寝たのに、夜中に目を覚ましそれから眠ることができない。

(萱野 1996 : 247)

助動詞 *koyaykus* は、そのときの状況や都合などのためにできないことを表す。

3-15 (朝早く出発したから) 彼らはもう着いているはずだ／もう着いたに違いない。【確信】

(26) *iku ewkotoyse ruwe tas ne nankor nek !*

飲酒 ～に集まる こと EMPH COP だろう よ

酒を飲むために集まっているのだろうさ！

(田村 1988 : 52)

田村(1988)によれば、副助詞 *tas(i)* は「まさに、きっと」のように確信をもって言う場合に使われる。

3-16 (あの人は) 明日はたぶん来ないだろう. 【推量】

(27) ek nankor.

来る.SG だろう

(彼/彼女は) 来るだろう.

(服部編 1964 : 303)

助動詞 nankor は推量を表す.

3-17 彼らはまだ来ないなんて, きっと途中で車が壊れたんじゃないか. 【疑念】

(28) ikiyaun tunasno e-ek wa sekor ku-raman.

もしかすると 早く 2SG.S-来る.SG よ QUOT 1SG.S-思う

もしかするとあなたが早く来るかもしれないなと私は思った

(田村 1996 : 224)

「ikiyaun~wa」で「もしかすると~するのではないだろうか」という意味を表す構文となる. 副詞 ikiyaun は, 「沙流川下流の人が言う. 中流の人は ikaanun と言う.」(田村 1996 : 224)

3-18 (昼間だからあの人は家に) さあ, いるかもしれないし, いないかもしれない. 【可能性】

(29) apto as ka ki nankor.

雨 ~が降る も する だろう

雨が降るかもしれない. (田村 1988 : 43)

(30) apto as hene ki nankor.

雨 ~が降る も する だろう

雨が降るかもしれない. (田村 1988 : 43)

(31) apto ka ne nankor.

雨 も COP だろう

雨かもしれない. (田村 1988 : 43)

(32) apto hene ne nankor.

雨 も COP だろう

雨かもしれない. (田村 1988 : 43)

nankor 「~だろう」は推量の助動詞である. 田村(1988)によれば, 「もしかすると~かもしれない」というあやふやな想像を表すには, (29)~(32)のような構文が用いられるという. また, これらのうち, 副助詞 ka を用いる(29)(31)のほうが, 副助詞 hene を用いる(30)(32)よりも, よりいっそう確実さが小さいようである.

3-19 (額に触ってみて) どうもあなたは熱があるようだ. 【視覚／聴覚以外の感覚による判断】

- (33) yaynetopa ka pase wa moy moyke ka a-koyaykus humi ne pekor
 自分の体 も 重い して 動くこと も 1SG.S-~ができない EV COP かのよう
 yaynu-an awa
 思う-1SG.S だが

私の体も重くて動くこともできないようだと思っていたのですが《説話》

(国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ: C0172KM_34716AP 川上まつ子さんの民話(ア) ペッラサ
 ンペに捕られそうになった男の子 (1986))

- (34) k-osorkamihi ta an hup yenu noyne humas na.
 1SG-尻の肉 に ある.SG 腫れ物 膿が出る ような 感じがする よ
 nukar wa nunpa wa en-kore.
 ~を見る して ~をしぼる して 1SG.O-~に~を与える
 私の尻に出来た腫れ物が化膿したようだ.見てしぼってくれ.

(萱野 1996 : 45)

アイヌ語の形式名詞 ruwe 「こと」, siri 「(視覚的な)様子」, hawe 「声」, humi 「音, 感じ」は証拠性表示のはたらきを持つことがある. 平叙文で使われる場合, 後ろにコピュラ ne を伴い, それぞれ以下の
 ような意味を表す.

ruwe ne : 文の内容に関して, 話者が事実として認識していることを示す.

siri ne : 文の内容に関して, 話者が視覚的な情報から判断していることを示す.

hawe ne : 文の内容に関して, 話者が言葉で聞いた情報から判断していることを示す.

humi ne : 文の内容に関して, 話者が視覚と言葉以外の感覚による情報から判断していることを示す.

(中川 2024 : 392)

(33)は humi ne の例である. このほか, (34)の humas 「感じがする」が使われる例もある.

3-20 (天気予報によれば) 明日は雨が降るそうだ. 【伝聞】

- (35) numan huci ek hawe ne.
 昨日 おばあさん 来る.SG EV COP
 昨日おばあさんが来たのだ.

(田村 1988 : 76)

- (36) yupke keman an ruwe ne yak a-ye.
 ひどい 飢饉 ある.SG こと COP と INDF.S-~を言う
 ひどい飢饉があったそうだ.

(田村 1996 : 293)

(35)は hawe ne 「~だそうだ」によって, その情報が言葉によって判断されたことを示している. (36)の yak a-ye 「~と (一般に人が) いう」も伝聞表現の一種である. この用例の yak は, 条件を表す yak とは異なり, 「動詞で終わる文(節)の後に置かれ, 次に「言う」「聞く」等を意味する他動詞 ye イエ,

nu ヌなどが来て、前の文をその目的語にする」。 (田村 1996 : 835)

3-21 もしお金があつたら、あの車を買うんだけれどなあ。【反実仮想】

- (37) sekor an menoko ta kamuy menoko ne yak a-kor oka!
 あのような女 EMPH 神 女 COP ならば 1SG.S-~を持つ なあ
 あのような女が女神であれば結婚するのになあ。《説話》

(田村 1996 : 835)

終助詞 oka については、3-10 の(15)を参照。

3-22 もしあなたが教えてくれていなかったら、私はそこにたどり着けなかったでしょう。【反実仮想過去】

- (38) a-koerampewtek a yakun aoka ka a-opitta atuy asam
 1SG.S-~を知らない した ならば PRN も 1SG-全部 海 底
 a-i-omare wa isam-an hi ne nankor pe
 INDF-1SG.O-~を~に入れる して 無い-1SG.S こと COP だろう もの
 知らないでいたならば私達もみんな海の底に沈んでしまったでしょう。《説話》

(国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ : C0148KM_34620AP 川上まつ子さんの民話(7) 大津波を
 予知して村を救ったキツネ神 (1985))

a yakun 「~したら」と nankor 「~だろう」が使われている。a yakun の a は過去であることを明示する助動詞であるが、yakun と a yakun に明確な使い分けがあるかどうかは不明である。

3-23 (あの人は) 街へ行きたがっている。【3 人称の主体による希望】

- (39) a-kor seta niwniwse kor i-tura rusuy.
 1SG.S-~を持つ 犬 ひゅんひゅん鳴く ながら 1SG.O-~を連れる したい
 私の犬はひゅんひゅんと言いながら私と一緒に行きたがっている。《説話》

(萱野 1996 : 55)

三人称主体による希望も一人称と同じく rusuy が使われる。

3-24 僕にもそれを少し飲ませろ。【1 人称命令】

- (40) sine rasuhu poka en-e-re.
 ひとつの 切れ端 でも 1SG.O-~を食べる-CAUS
 1片でも食べさせてくれ。

(萱野 1996 : 269)

他動詞 e 「~を食べる」に使役接尾辞 re が付いて ere 「~に~を食べさせる」となる。

3-25 これはあの人に持って行かせろ／持って行かせよう。【3人称命令】

- (41) pon korka okirasnu p ne na.
 小さい けれど 力が強い もの COP よ
 taan pe ani-re wa arpa-re.
 この もの ～を持つ-CAUS して 行く-CAUS
 小柄だが力がある者だから、この物を持たせて行かせろ。

(萱野 1996 : 29)

anire「～に～を持たせる」, arpare「～に行かせる」は、それぞれ他動詞 ani「～を持つ」, 自動詞 arpa「行く」に使役接尾辞 re が付いた動詞である。単純な命令文なので動詞 anire, arpare は主格人称接辞を伴わない。

3-26 そのテーブルの上のお菓子は後で食べなさい。【遠未来命令形】

- (42) tap aynu an na. imakake ta ek hani.
 今 人間 いる.SG よ 後 で 来る.SG ね
 今人がいるので、のちほど来てね。

(萱野 1996 : 72)

単純な命令文なので動詞 ek は主格人称接辞を伴わない。この用例では imakake ta「後で」という表現が用いられているが、別の語を以て表されることも有り得る。命令文末の終助詞 hani は「親しみ深くやさしい言い聞かせを示す。同輩や目下、子どもや弱い人に対して親愛感やいつくしみやいたわりを込めて話す中で使われる。」(田村 1996 : 170)

3-27 もっと早く来ればよかった。【反実仮想】

- (43) nen ne yakka wenkur ne yakka sanke p e-uk yak pirka p
 誰 COP であっても 貧乏人 COP でも ～を出す もの 2SG.S-～を取る したら 良い もの
 e-uk ka somo ki wa kusu …
 2SG.S-～を取る も NEG する なので

(相手が) 誰であっても貧乏人であっても、出されたものを受け取るとよかったが、お前が受け取らなかったで…《説話》

(大谷 2019 : 86)

yak pirka p「～するとよいが／よいのに」の、「過去の事実と反する場合」の用法と思われる。

3-28 あなたも一緒に行ったら（どうですか）？【脱従属化】

- (44) nep ka oyra noyne yaykohosipi kusu a-tere hike ?
 何 か ～を忘れる らしい ちょっと戻る ので 1PL.S.INCL-～を待つ こと
 何か忘れたらしく戻って行ったから待っていないか？

(田村 1988 : 46)

- (45) e-e hike mak ?
 2SG.S-～を食べる こと どう
 食べたらどう？

(田村 1996 : 189)

hike は前の動詞句を名詞化している。(44)は直訳であれば「待つことは(どう)?」のようになる。(45)のような例は田村(1988)によれば「～hike mak ?」の **mak** 「どう」が省略された形であるという。

3-29 オレがそんなこと知るか! 【(疑問詞を含まない) 反語】

- (46) “ epo tasi e-tura an-an nek !”
 ええい EMPH 2SG.O-～を連れる いる.SG-1SG.S か
 「ええい, お前なんかと一緒にいるもんか!」《説話》

(田村 1996 : 408)

終助詞 **nek** は副助詞 **tasi** などと呼応して, 反語的に「～するものか」という意味を表す。このほか, 「まさに～こそ～さ」という確信をもった言い方にも使われる (3-15 の(26)参照)。

- 3-30 これを作った (料理した) のは, お母さんだよな? / いいえ, 私が作ったのよ. 【付加疑問】
 不明

略号

1: 1 人称 (本稿では物語文中の叙述者の人称も含む), 2: 2 人称, CAUS:使役, COP:コピュラ, EMPH: 強調, EV:証拠性, HOR:勧誘, IMP:命令, INCL:包括, INDF:不定, O:目的格, PL:複数, PRN:人称代名詞, PROH:禁止, Q:疑問, QUOT:引用, S:主格, SG:単数, TOP:主題

参考文献

- アイヌ民族博物館編. 1997. 『伝承記録3 上田トシのウエペケレ』アイヌ民族博物館.
 大谷洋一. 2019. 「アイヌ口承文芸「散文説話」ータンネサラの男ー」『北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要』4, .79-92, 北海道博物館.
 萱野茂. 1996. 『萱野茂のアイヌ語辞典』三省堂.
 田村すず子. 1988. 「アイヌ語」 亀井孝, 河野六郎, 千野栄一編『言語学大辞典』1, .6-94, 三省堂.
 田村すず子. 1989. 『アイヌ語音声資料6』早稲田大学語学教育研究所.
 田村すず子. 1996. 『アイヌ語沙流方言辞典』草風館.
 千葉大学編. 2015. 『アイヌ語の保存・継承に必要なアーカイブ化に関する調査研究事業 第2年次(北海道沙流郡平取町) 調査研究報告書 1/3』千葉大学.
 中川裕. 2024. 『アイヌ語広文典』白水社.
 服部四郎編. 1964. 『アイヌ語方言辞典』岩波書店.
 本田優子. 2001. 「川上まつ子アイヌ語文例集」『アイヌ民族博物館研究報告』7, 9-76, アイヌ民族博物館.
 「AA 研アイヌ語資料公開プロジェクト」, <<https://ainugo.aa-ken.jp/>>. (2024-11-10 閲覧)

「国立アイヌ民族博物館アイヌ語アーカイブ」, <<https://ainugo.nam.go.jp/>>. (2024-11-10 閲覧)

執筆者連絡先 : yoshikawa.yoshimi1@pref.hokkaido.lg.jp

原稿受理 : 2024 年 11 月 10 日